



平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月9日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	2,212	5.5	277	27.2	279	27.8	170	28.5
25年4月期第2四半期	2,097	△1.3	218	△32.0	218	△31.2	132	△25.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	40.73	40.44
25年4月期第2四半期	31.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第2四半期	3,949	3,408	86.3
25年4月期	3,967	3,363	84.8

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 3,406百万円 25年4月期 3,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	29.00	29.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,883	7.7	686	4.5	690	3.9	423	4.0	101.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年4月期2Q	4,366,000株	25年4月期	4,366,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年4月期2Q	179,527株	25年4月期	179,527株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年4月期2Q	4,186,473株	25年4月期2Q	4,186,577株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の効果などから円安や株高が進行し、輸出産業を中心に企業収益が改善するなど明るい兆しが見られたものの、消費税率の引き上げによる消費マインドの低下懸念などもあり、引き続き先行きは不透明な状況にあります。

当社が属しております葬祭市場、写真市場におきましても、先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力サービスを主に提供するメモリアルデザインサービス事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するチャレンジングなビジネスであるパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

このような状況の下、メモリアルデザインサービス事業やパーソナルパブリッシングサービス事業では新サービスや製品のリリースを積極的に行い、エアリアルイメージング事業ではマーケティングや生産技術研究に重点的に取り組んでまいりました。あわせて、新しいサービスの研究も進めてまいりました。

セグメント別の概況を示すと、次のとおりであります。

① メモリアルデザインサービス事業

当事業におきましては、堅調な新規顧客獲得による遺影写真加工収入の増加に加え、ペーパー、インク、額などの消耗品やハード機器の売上也順調に推移しました。また、葬儀演出関連ツールの売上也増加いたしました。

10月には、遺影写真加工の安定的な供給体制をより強固なものとするため、3か所目の拠点としてびわこオペレーションセンターを滋賀県大津市に開設いたしました。

その結果、売上高は1,032,859千円(前年同四半期比106.1%)、セグメント利益は312,561千円(前年同四半期比103.1%)となりました。

② パーソナルパブリッシングサービス事業

当事業におきましては、プロフェッショナル写真市場向けには、セミナーの実施や、前期に販売開始しましたZENレイフラットの拡販に注力するとともに、「オンデマウント」「URUSHI」などの新製品をリリースしました。一般消費者向けには、新しい判型の写真集の投入や簡単に発注できる「おまかせマイブック」サービスの開始に加え、スマホ向けサービスとして、写真切り出しアプリ「AfterShutter」やポラロイド風アルバム「patapata」をリリースしました。

北米向け売上は契約の見直しにより卸売方式へ変更したため売上が減少したものの、国内プロフェッショナル写真家向け売上、一般消費者向け売上也順調に推移いたしました。特にZENレイフラットは好調でした。費用面につきましては、前期に実施した戦略的な広告宣伝費や販売促費が通常ベースに戻り、また、海外向け経費も減少いたしました。

その結果、売上高は1,167,092千円(前年同四半期比104.6%)、セグメント利益は202,104千円(前年同四半期比154.2%)となりました。

③ エアリアルイメージング事業

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指し、一昨年3月に開始した事業であります。

マーケティング面におきましては、試作品の販売を進めるとともに、10月には展示会CEATECに出展し、センサーとの組み合わせなどで具体的な活用シーンを提案し、キーテクノロジー部門準グランプリを受賞するなど多くの注目を受け、その後も各方面から問い合わせや引き合いを頂戴している状況です。また、生産面につきましては、従来と比べ、低価格での増産が可能になりましたものの、さらなる低価格化と大量生産を可能にする本格量産技術の確立に向けて活動しております。

その結果、売上高は12,566千円(前年同四半期比145.7%)、セグメント損失は41,321千円(前年同四半期は40,676千円の損失)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,212,518千円(前年同四半期比105.5%)となり、利益面につきましては、エアリアルイメージング事業の立ち上げや新サービスの研究等への先行費用が発生したものの、売上増による粗利益の増加に加え、パーソナルパブリッシングサービス事業において、販売手数料、広告宣伝費、販売促進費などが減少したため、経常利益は279,496千円(前年同四半期比127.8%)、四半期純利益は170,498千円(前年同四半期比128.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ18,686千円減少し、3,949,076千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が32,407千円増加する一方で、法人税等や配当の支払いなどにより現金及び預金が70,850千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ63,862千円減少し、540,287千円となりました。これは主に、前事業年度末に固定資産の購入などにより増加した未払金が75,325千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ45,175千円増加し、3,408,788千円となりました。これは主に、剰余金の配当として121,407千円計上した一方で、四半期純利益を170,498千円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ70,850千円減少し、873,408千円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、295,976千円(前年同四半期は218,366千円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益278,045千円、減価償却費135,333千円を計上した一方、法人税等の支払額110,191千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、236,362千円(前年同四半期は278,156千円の使用)となりました。これは主に、印刷関連の機械装置など有形固定資産の取得171,784千円、写真集関連のソフトウェア開発など無形固定資産の取得61,467千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、130,467千円(前年同四半期は118,757千円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払120,907千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年6月10日に発表いたしました平成26年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,549,258	1,478,408
受取手形及び売掛金	503,435	535,812
商品及び製品	82,057	81,979
原材料	39,320	37,937
仕掛品	18,592	14,976
その他	80,575	86,534
貸倒引当金	△3,251	△5,325
流動資産合計	2,269,988	2,233,352
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	508,790	495,056
土地	432,702	432,702
その他(純額)	347,541	362,979
有形固定資産合計	1,289,035	1,290,738
無形固定資産	210,946	230,899
投資その他の資産	197,793	194,085
固定資産合計	1,697,775	1,715,723
資産合計	3,967,763	3,949,076
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,567	98,312
未払法人税等	115,400	112,700
賞与引当金	108,200	111,300
その他	277,583	204,897
流動負債合計	586,750	527,209
固定負債		
退職給付引当金	9,996	8,192
その他	7,403	4,885
固定負債合計	17,399	13,077
負債合計	604,150	540,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,380,251	2,429,342
自己株式	△122,635	△122,635
株主資本合計	3,354,501	3,403,592
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,112	2,843
評価・換算差額等合計	9,112	2,843
新株予約権	—	2,353
純資産合計	3,363,613	3,408,788
負債純資産合計	3,967,763	3,949,076

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	2,097,789	2,212,518
売上原価	1,037,549	1,108,350
売上総利益	1,060,239	1,104,167
販売費及び一般管理費	842,112	826,783
営業利益	218,127	277,384
営業外収益		
受取利息	934	810
受取配当金	284	339
受取手数料	274	292
為替差益	—	192
その他	997	492
営業外収益合計	2,491	2,126
営業外費用		
支払利息	498	14
為替差損	1,447	—
営業外費用合計	1,945	14
経常利益	218,673	279,496
特別損失		
固定資産除却損	1,506	1,450
特別損失合計	1,506	1,450
税引前四半期純利益	217,166	278,045
法人税等	84,447	107,547
四半期純利益	132,718	170,498

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	217,166	278,045
減価償却費	136,736	135,333
株式報酬費用	—	2,353
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△617	2,072
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,350	3,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	836	△1,804
受取利息及び受取配当金	△1,219	△1,149
支払利息	498	14
為替差損益(△は益)	3	△2
固定資産除却損	1,506	1,450
売上債権の増減額(△は増加)	21,138	△32,407
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,211	2,077
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,808	12,745
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,558	5,521
その他	△18,819	△1,678
小計	346,424	405,671
利息及び配当金の受取額	479	500
利息の支払額	△454	△3
法人税等の支払額	△128,083	△110,191
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,366	295,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,000
定期預金の払戻による収入	—	5,000
有形固定資産の取得による支出	△256,864	△171,784
無形固定資産の取得による支出	△30,540	△61,467
貸付けによる支出	△1,500	—
貸付金の回収による収入	150	200
その他	10,598	△3,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278,156	△236,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△34,500	△8,723
配当金の支払額	△83,379	△120,907
自己株式の取得による支出	△40	—
その他	△836	△836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,757	△130,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△178,550	△70,850
現金及び現金同等物の期首残高	934,842	944,258
現金及び現金同等物の四半期末残高	756,291	873,408

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	973,478	1,115,686	8,624	2,097,789	—	2,097,789
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	973,478	1,115,686	8,624	2,097,789	—	2,097,789
セグメント利益又は損失 (△)	303,107	131,077	△40,676	393,507	△175,380	218,127

(注) 1 セグメント利益の調整額△175,380千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,032,859	1,167,092	12,566	2,212,518	—	2,212,518
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,032,859	1,167,092	12,566	2,212,518	—	2,212,518
セグメント利益又は損失 (△)	312,561	202,104	△41,321	473,344	△195,959	277,384

(注) 1 セグメント利益の調整額△195,959千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。